

医療法人社団 樹伸会
いしはた歯科クリニック
歯科／小児歯科／歯科口腔外科／矯正歯科
予防歯科／入れ歯治療

石幡 一樹 理事長
Ishihata Kazuki

しっかり噛める歯で口腔機能を改善
患者の「健幸」のために力を尽くす

久喜駅から徒歩2分という通いやすい立地で、地域住民の歯の健康を守り続けている「いしはた歯科クリニック」。石幡一樹理事長は、患者のより良い「健幸(けんこう)」「な人生のために、常に新しい知識や技術の研鑽を欠かさない。噛み合わせを重視しての口腔機能

の改善や、しっかり噛むための欠損歯の治療に力を入れる。「高齢になり噛む力が衰えると、食事がやわらかいものばかりになってしまいます。噛まなければ口腔機能はさらに衰え、バランスの良い栄養が摂取できないと心身の機能までも低下させかねませ



1 キッズスペースを備え、院内は居心地の良い空間だ 2 自動精算機が導入されており、診療後スムーズに精算できる 3 精密な検査から口腔状況を細部まで把握し、適切な治療法を検討

ん。80歳になっても両側の奥歯でしっかり噛めるように考えて、治療のプランを提案しています」
患者の年齢やライフスタイルも考えて治療法を提案。入れ歯やインプラント治療などさまざまな選択肢を用意し、1回の手術で抜歯と仮歯の埋め込みまで完了する抜歯即時埋入法も取り入れている。

かつて恩師から「医師は命を救い、歯科医師は人生を救う」という言葉を学んで以来、ずっと胸に刻んでいるという理事長。患者の人生が豊かなものになるよう、歯科医師として力を尽くす。

「食事を自由に食べられないことは、それ自体がストレスになり、高齢の方は生きる意欲に関わってきます。生涯きちんと噛める状態を維持して、加齢により口腔機能が低下するオーラルフレイルを防止、患者さんを早く長く「健幸」に導いて差し上げたいですね」

口は健康の入り口
歯で苦労しないよう
何もないときにこそ歯科医院へ

口は健康の入り口といわれるが、日本人は歯に対する意識が先進国の中でも低く、その結果が80歳になったときの歯の本数として表れているという。健康を保つ上できちんと噛める歯がいかに大切か。理事長が情報提供にも力を入

編集部
eyes

気さくで爽やかな印象の石幡理事長。こちらからの質問に対し、図やグラフを用いながら説明してくださいました。診療時の説明に気を配っているのも納得です。ホームページのブログでは、よく

ある症状やその対処法を詳しく記載されています。スタッフの皆さんも明るく丁寧な対応で、患者さんの不安に寄り添ってくれるクリニックだと感じました。